

水リステクと企業



グローバルウォーター・ジャパン代表
グロリアバルウォーター・ジャパニアン代表
(国連テクニカルアドバイザー)

吉村 和就

▶18

国際水協会(IWA)の総会が先月21日から5日間ポルトガル・リスボンで開催された。

勢120人以上の関係者が参加した。展示会も注目すべき発表は次の3

点であった。

①水とエネルギーと食糧の連結・連携(WEF: Water-Energy-Food Nexus)

②淡水化技術の未来

③スマートウォーターネットワーク

国際水協会総会

水・エネルギー・食糧の連携などに注目

欧米を中心に展開されている、各種センサーとウォーターネットワークを統合し、水の管理を最



2日間に渡り、ジャパン・パビリオンに参加した企業や団体がプレゼンを行ったが、残念ながら他の国や企業に比べレベルの低さが目立った。原稿の棒読みや、質問の意味が分からず立ち往生の場があった。国際会議に慣れてないとはいえず、事前の訓練不足が感じられた。邦人の留学経験者や欧米人の活用も視野に入れるべきである。

「開催国のポルトガル政府、リスボン市に開催の御礼を述べるとともに、参加者にIWAを通じて世界の水問題を解決し、水の未来を創造しよう」と宣言した。

今回の、多くの発表がな

る技術セッションでは発表件数約350件の内24件、ポスターセッション約600件の内50件で日本人が発表、存在感を示した。

決する概念である。これからの水を考える上位概念となるだろう。

適化する情報システムに人気が集まった。ジャパン・パビリオン(写真)で、今後、世界の主流になるビジネスである。

ターで、プレゼンの場で日本の技術をPRしていた。

点であった。

このWEFの概念は、

特に正(順)浸透膜

同時開催の展示会では

の共同出展者は、日本水道協会、日本下水道協会、東京都水道局、東京都下水道局、横浜市水道局、日本水道工業団体連

合会、水ing、大成機

注目すべき発表

今回、多くの発表がな

る技術セッションでは発表件数約350件の内24件、ポスターセッション約600件の内50件で日本人が発表、存在感を示した。

このWEFの概念は、

特に正(順)浸透膜

同時開催の展示会では

の共同出展者は、日本水道協会、日本下水道協会、東京都水道局、東京都下水道局、横浜市水道局、日本水道工業団体連

合会、水ing、大成機

注目すべき発表

今回、多くの発表がな

る技術セッションでは発表件数約350件の内24件、ポスターセッション約600件の内50件で日本人が発表、存在感を示した。

このWEFの概念は、

特に正(順)浸透膜

同時開催の展示会では

の共同出展者は、日本水道協会、日本下水道協会、東京都水道局、東京都下水道局、横浜市水道局、日本水道工業団体連

注目すべき発表

今回、多くの発表がな

る技術セッションでは発表件数約350件の内24件、ポスターセッション約600件の内50件で日本人が発表、存在感を示した。

このWEFの概念は、

特に正(順)浸透膜

同時開催の展示会では

の共同出展者は、日本水道協会、日本下水道協会、東京都水道局、東京都下水道局、横浜市水道局、日本水道工業団体連

注目すべき発表

今回、多くの発表がな

る技術セッションでは発表件数約350件の内24件、ポスターセッション約600件の内50件で日本人が発表、存在感を示した。

このWEFの概念は、

特に正(順)浸透膜

同時開催の展示会では

の共同出展者は、日本水道協会、日本下水道協会、東京都水道局、東京都下水道局、横浜市水道局、日本水道工業団体連

注目すべき発表

今回、多くの発表がな

る技術セッションでは発表件数約350件の内24件、ポスターセッション約600件の内50件で日本人が発表、存在感を示した。

このWEFの概念は、

特に正(順)浸透膜

同時開催の展示会では

の共同出展者は、日本水道協会、日本下水道協会、東京都水道局、東京都下水道局、横浜市水道局、日本水道工業団体連